

成果の説明書

富澤一弘	経済学部 経済学科
<p>重要事項</p> <p>1 科学研究費補助金（基盤研究 C 平成 23 - 27 年度「近代日仏間生糸・絹織物貿易史の研究ーリヨン絹織物業組合の原史料を中心にー」）によるフランス国立図書館・フランソワ・ミッテラン館（パリ市）の調査。</p> <p>報告者は、平成 27 年 12 月 23 日（水） - 1 月 10 日（日）まで、現地史料調査を実施して、19 - 20 世紀前半の日仏生糸・絹織物貿易に関する仏文史料・原文書等を、1 万枚余複写して帰国している。</p> <p>これらの史料は、わが国にはコレクションとしては、全く存在しておらず一国会図書館にも、他の有名な史料所蔵機関にもみられない一フランス国内の蚕糸業・絹織物業関連の業界紙・誌等であり、フランス側から当該期のシルク貿易史を研究する際の、知られざる最重要史料である。</p> <p>報告者は、今後とも、本研究を最重点の研究課題として継続・深化させていくつもりであり、さらに平成 28 年度の史料集刊行、平成 29 年度の論文集刊行を目指して、孜々として努めていきたい、と考えている。</p> <p>2 国内史料所蔵機関における史料調査</p> <p>1 の研究・調査の補充調査として、科学研究費補助金、および個人研究費を用いて、首都圏、東北 - 西日本エリアにおいて、生糸・絹織物貿易に関する文献蒐集を行っている。これらは、明治 - 昭和前期のシルク産業に関する史料が中心であり、他に紡績、金融に関する文献等も含まれている。平成 28 年度以降も、これら補充調査を、エリアを拡大しつつ、継続していく予定である。</p> <p>3 研究会における報告</p> <p>①富澤一弘「大正初年における日本製生糸の評判について - フランス市場を中心にして - 」(群馬歴史研究会、平成 27 年 11 月 29 日(日)、群馬県桐生市黒保根町)。</p> <p>②富澤一弘「大正中期における日本製生糸の評判について - フランス市場を中心にして - 」(群馬歴史研究会、平成 28 年 2 月 28 日(日)、群馬県桐生市黒保根町)。</p>	